



4月の末に色々な方々の協力のもと幼稚園にやってきた沢山のケールドラムたち。子どもたちにとっても魅力的な教材は、大きな物から小さなものまで様々。大きなものは子どもたちの身長を超すくらいのサイズ。さてこの上にはどうしたらよいかな。小さいドラムを階段みたいに足場にして上がっていきました。さて次はドラムからドラムに渡るにはどうしたらいいかな。双方のドラムに木の板を渡して釘を打って固定し始めました。3歳になると釘をトンカチでうつ教材を室内でも行っているのですが、扱いには慣れています。外用の長い釘や本物のかなづちは、誤って自分の手を打ってしまわないように気を付けてな



が打ち付けます。サイズが合わない時はのこぎりで切ったり、木材と木材を組み合わせてたりしながら年長児が中心となって年中児と一緒にハウス整備をする毎日です。園では本物を使用することで身をもって気を付けることが大切と考えています。拾ってきた枝や木の葉、ごき・コンクリートブロックなど、素材はすべてミナミナハウスの材料に変身！外遊びに行くときは必ず軍手を履いて、前日の続きをする日々。みんなの願いが叶って、もつとクオリティの高いミナミナハウスのキツトが届く予感。子どもたちならみんなが欲しい秘密基地！そんなワクワクする日々をみんなで楽しみたいと思います。



本校では児童数の減少を考慮し、より充実した学習を目指して、昨年度から1・2年生、3・4年生、5・6年生という2学年合同のブロック活動を重視した教育活動を進めてきました。

6月7日(土)に実施した運動会では、表現や団体競技等の体育科の授業において、ブロック活動を取り入れ、上学年が話し合いをリードしたり、下学年と一緒に作戦や工夫を考えたり、困っている時に支えたり、教えたりする活動を通して、自分や仲間と向き合い、言葉で励まし合い、協力し合い、「思いやり」の気持ち

ちをもつて取り組む姿が多く見られました。

6月20日(金)の遠足(長万部公園)でも、子どもたちはその経験を生かして、ブロックでのレク活動の企画・運営をしました。上学年は、下学年を優しい言葉で支え、手を添えてリードするなど、緑が美しい長万部公園のメイン広場には、たくさんの子どもの笑顔と歓声が響き渡っていました。下学年からの「あこがれ」の目で見つめられていた上学年の子どもたちの表情はとても輝いていました。

この遠足の実施に際し、長万部町役場の皆様から大変多くのご協力とご尽力を賜り、誠にありがとうございます。きれいに刈られた青々とした芝生、透き通る美しい小川や池、清潔なトイレなど、素晴らしい環境をご提供いただき、子どもたちのより充実した活動を支えていただきました。心より感謝いたします。

このように、本校では、普段の学校生活で身に付けた力を発揮することが出来る学習や学校行事、ブロック活動を通して、全ての子どもたちの可能性を引き出す教育の推進



QRコード

※本校の教育活動の様子はホームページに掲載しています。ご覧ください。

長万部小学校
教頭 日登 圭一

を大切にするともに、子どもたちが「楽しい・行きたい」学校、「あこがれと思いたい」学校、「あふれる」学校、保護者の皆様が「通わせたい」学校、地域の皆様が「応援したい」学校を、教職員全員一丸となり取り組んでまいります。



「ミナミナハウスができてきたよ！」
認定こども園長万部マリア幼稚園

「あこがれ」の目、全ての子どもたちの可能性を引き出すブロック活動

長万部小学校

写真で見る学校の様子

長万部高等学校



6月29日 毛がにまつり



6月29日 毛がにまつり



6月29日 毛がにまつり

長万部中学校



6月17日 総合的な学習



6月23日 中体連壮行会



7月4日 きもの教室

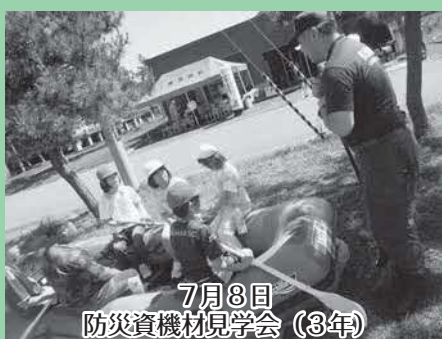
長万部小学校



7月1日 まちたんけん (2年)



7月8日
はっこ同盟交流会 (児童会三役)



7月8日
防災資機材見学会 (3年)

「小・中・高連携の要」としての 長万部中学校の教育活動の推進

長万部中学校長 柴 野 貴 史

6月17日(火)に開催された長万部高校オープンスクールに本校の3年生全員が参加しました。長万部高校の特色を感じただけでなく、生徒一人一人が関心に迎える高校生活について想起することができました。

また、本校と長高では、「中・高連携」を推進しており、部活動の交流及び連携教科の授業交流を行っています。6月11日(水)には、本校保健体育の菅原教諭が長高を訪れ、長高の三浦教諭と連携した授業を行いました。今後は、英語、音楽などの他教科に渡る中・高連携授業を推進する予定です。

このような「中・高連携」の目的は、中高間で教育的な情報交換や授業交流を行うことを通じて、中学校教育から高校教育への円滑な接続及び教育内容や学習活動の量的・質的充実を目指すものです。連携教科において複数の教員で授業を行う「ティーム・ティーチング」による授業改善を推進することで、授業前後に支援と効果を共有し、連携した教材研究、生徒情報の共有を図ることができま

【学習指導上の効果】

- ◎学習意欲の喚起
- ◎授業内容の理解度の向上
- ◎つまづきを抱える生徒への実効的な支援

【生徒指導上の効果】

- ◎生徒理解の深化及び個に応じた支援の充実
- ◎希求能力の向上
- ◎授業を通じた自信や自己肯定感の向上

◎コミュニケーション能力の向上
【キャリア形成上の効果】

- ◎中学校から高校卒業までのキャリアの見通し
- ◎個に応じた進路選択への教育環境整備

◎6年間に及ぶ自己実現へのアプローチ

今後も、中学校から高校への滑らかな接続や授業改善を推進、資質・能力の向上を図る教育の実現について、中・高が連携して推進します。

また、小学校から中学校までの9年間の義務教育段階では、小・中学校間の円滑な連携体制を構築し、学習指導と生徒指導を関連付けた教育活動の改善・充実を図ることにより、児童生徒のよりよい人間関係を築く力を育成することが求められています。

このため、これまで中学校教員が小学校を訪れて授業を行う「小学校乗り入れ授業」の実施や、中学校入学を前に6年生が中学校の授業を体験する「1日体験入学」等を実施してきました。

今後も、児童生徒間の交流を推進するため、「長万部町小・中連携協議会」や「長万部町教育連携会議」、「学校運営協議会」等を通じて、小・中・高連携のより一層の充実を検討して参ります。

長万部中学校が「小中高連携の要」となり、小・中・高12年間に渡って「地域で子どもを育む町づくり」の一助になる教育活動の推進に努めて参りますので、引き続き長万部中学校の教育活動に、より一層のご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。